

## 2011年度な～に谷っ戸ん田 第28回目 — もち米の脱穀とロッカーの移設 —

と き： 平成23年10月29日(土) 9:30～16:00

ところ： 谷っ戸ん田・坂真ん中のビニールハウス内

天 気： 晴れ

参加者： オズ(午前)、久保、霧生+丸山、坂本、佐々木(利)、松下、松本夫妻、園主

内 容： 計 9名

### 【午前】～12:30 ロッカー移設

- ・園主と打ち合せ後、広場のロッカーの中を片付け、谷戸奥のポンプ小屋裏に移設することを決める。(松本さんの折りたたみ式のテーブルセットは、広場の土管の中に置いておくことにした。)
- ・設置場所の辺りを片付け、土を均す。運搬は力仕事の為、全員が揃うのを待っていたら、見かねた園主がフォークリフトでロッカーを運んで下さった。(一同、感謝!!)
- ・ブロックを敷いて平行をみながらロッカーを設置。掃除後棚を組み立て、届いていた刈払い機2台と小物類を収納。刈払い機の盗難防止策を話し合う。

### 【昼食】～13:30

- ・各自お弁当と休憩。やわらかな陽ざしの中、谷戸の秋を楽しんだ。

### 【午後】～16:00 もち米の脱穀

- ・ビバホームにて、刈払い機の盗難防止用のチェーンとダイヤル式の鍵を松下さんが購入。ロッカー内に取り付けて一安心。
- ・午前中に運んでおいた脱穀機の中に残る籾屑等の掃除後、もち米の脱穀開始。満月(1袋弱)と喜寿(7.5袋)を脱穀し、藁10束(5束づつ上下逆に重ねて)を紐で束ねた。
- ・脱穀後の籾を、ネコで作業小屋にあがる坂の途中にあるビニールハウスに運搬。
- ・最近雨が降ったり陽も短くなったことから、「ハウスに拡げておいて湿気をとばしたほうがよい」と園主からのアドバイスがあり、翌週の籾摺りまで、ハウスで乾燥することにしたのだ。(時々、掻き混ぜたほうがよいとのこと)。ビニールシートを引き、籾を出来るだけ重ならないように広げて干した。
- ・並行して、脱穀機の掃除、解体したポニーの足の部分の泥をブラシで落とす作業をして終了。
- ・これにて一度解散。畑作業が出来なかった為、可能な人が畑を視察することになった。
- ・畑の様子：白菜、大根、カブが成長しており、間引きが必要と思われたが、その場にいた4人でやってしまうよりも翌週にしようということになり(間引き菜のお楽しみもあるので)、カブと白菜を少しだけ間引きした。
- ・カブはすでに大きく育っているものもあるので、翌週、収穫できるものもありそう。
- ・白菜は、虫食いがあり、よくみるとカタツムリがついていたりして、少しはとったが心配な状態。→翌週は、白菜、大根の間引きをし、さつま芋の茎を切って残すか掘り出すか・・・といった作業が必要になると思われる。

11月5日(土) 籾摺り、畑作業(間引きとさつま芋収穫等)